

(別紙)

令和6年度 東京港オフピーク搬出入モデル事業の実施結果（概要）

1 実施概要

(1) 実施期間 2024年11月18日～29日（10日間）

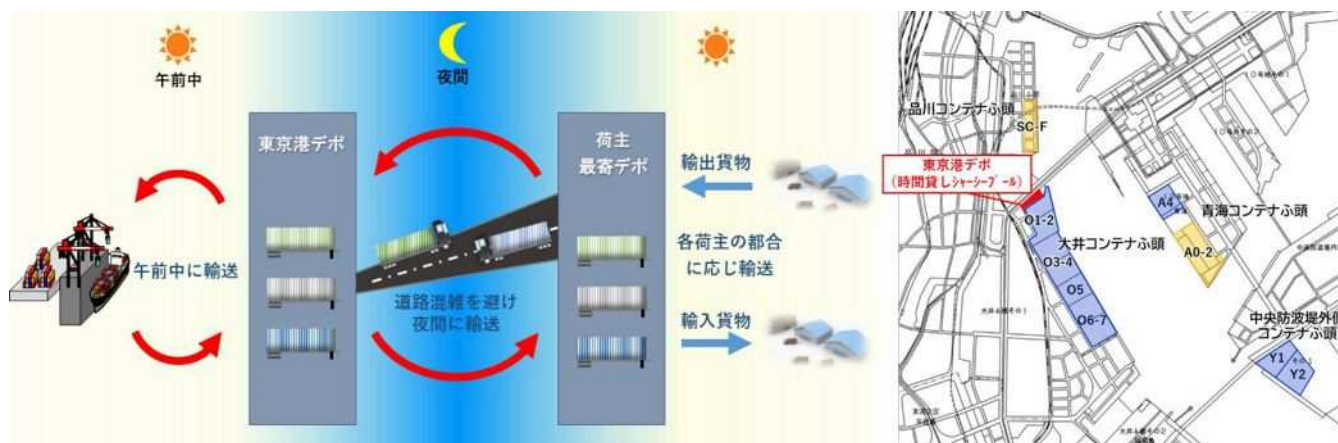
(2) 実施本数 112本

(3) 実施事業者（10社1グループ）

荷主企業： 株式会社クボタ（代表）、本田技研工業株式会社、コマツ
三桜工業株式会社、白石カルシウム株式会社、株式会社鶴見製作所

物流事業者： 吉田運送株式会社、みなと運送株式会社、鈴与株式会社、株式会社日新

(4) 事業概要 複数の荷主企業と物流企業が連携し、混雑の少ない夜間を利用して内陸と東京港の間の輸送を効率化するとともに、コンテナターミナルの搬出入を午前を実施し混雑を回避する



2 実施結果（概要）

ゲート前待機時間が短縮したほか、ドライバー1人あたりの輸送効率が向上し、かつコンテナ1本あたりの運転時間が短縮するなどの効果が確認できた。

◇ **ゲート前の待ち時間** 43分 ⇒ 7分

コンテナヤードの待機列に並び始めてから、ゲートに入場するまでに要する時間

◇ **輸送効率** 2 (本/人日) ⇒ 3 (本/人日)

ドライバー1人が1日あたり輸送できる本数

◇ **ドライバーの運転時間** 3.2 (時間/本) ⇒ 1.5 (時間/本)

1つの貨物を輸送するのに要した運転時間

※各効果は、モデル事業における一例であり、荷主最寄りデポの立地などによって異なる